

2026年6月 掲示用

2026年5月 回復期リハビリテーション病棟実績

実績指数

50.3

提供単位数

2 F 6.52単位

5 F 6.66単位

実績指数とは・・・

効果に対しての基準：機能的自立度評価方法（FIM）の運動項目点数が回復期入院期間でどれだけ効率的に良くなったかを表します。

42以上が回復期リハビリテーション病棟入院料1の基準値となります。

48以上が回復期リハビリテーション強化体制加算の基準値となります。

* 直近6ヶ月の数値になります。

提供単位数とは・・・

一日のリハビリテーション実施平均単位数

* 実績月単月の数値になります

3ヶ月間の退棟患者数（下記内訳）

2 F 72名

5 F 46名

回復期分類	2 F	5 F
1 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	39名	24名
2 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	30名	19名
3 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	1名	2名
4 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0名	1名
5 股関節又は膝関節の置換術後の状態	2名	0名
6 急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名

